

MS&C

株式会社 MS &amp; Consulting

2025年2月期 第1四半期

決算説明資料

## ✓ 業績

- 売上収益 427百万円 前年同四半期比11.1%増
- 営業損益 △123百万円 前年同四半期差異24百万円減

## ✓ 方針進捗

- MSRは今期の活動方針に「MSRの再構築」を掲げ取引拡大に傾注してきたことが功を奏し、通常調査、海外関連調査、送客＋調査型サービスが全て増加
  - 前年同四半期比 売上収益：28.9%増、受注：22.3%増
- 人的投資及びIT投資の継続により、労務費・減価償却費が上昇

## ✓ 業績予想

- 2025年2月期業績予想は達成の見込み

# 連結P/L(四半期比)

単位：百万円	2025年2月期 第1四半期	2024年2月期 第1四半期	前年 同四半期差異	前年 同四半期比
売上収益	427	384	43	11.1%
売上原価	△ 381	△ 310	△ 71	22.8%
売上総利益	46	74	△ 28	-38.1%
販管費	△ 173	△ 185	11	-6.2%
その他の営業損益	4	12	△ 7	-64.1%
営業利益	△ 123	△ 99	△ 24	—
EBITDA	△ 96	△ 77	△ 19	—
親会社の所有者に帰属する 当期利益	△ 73	△ 65	△ 8	—

✓ 前年同四半期比、売上収益11.1%増、売上総利益38.1%減、営業損益24百万円減

- 「MSRの再構築」を方針に掲げ取引拡大を図ったことでMSRは増加、SaaSとコンサルは減少(増減要因はp4参照)
- 売上原価22.8%増、販管費6.2%減、以下が主な要因

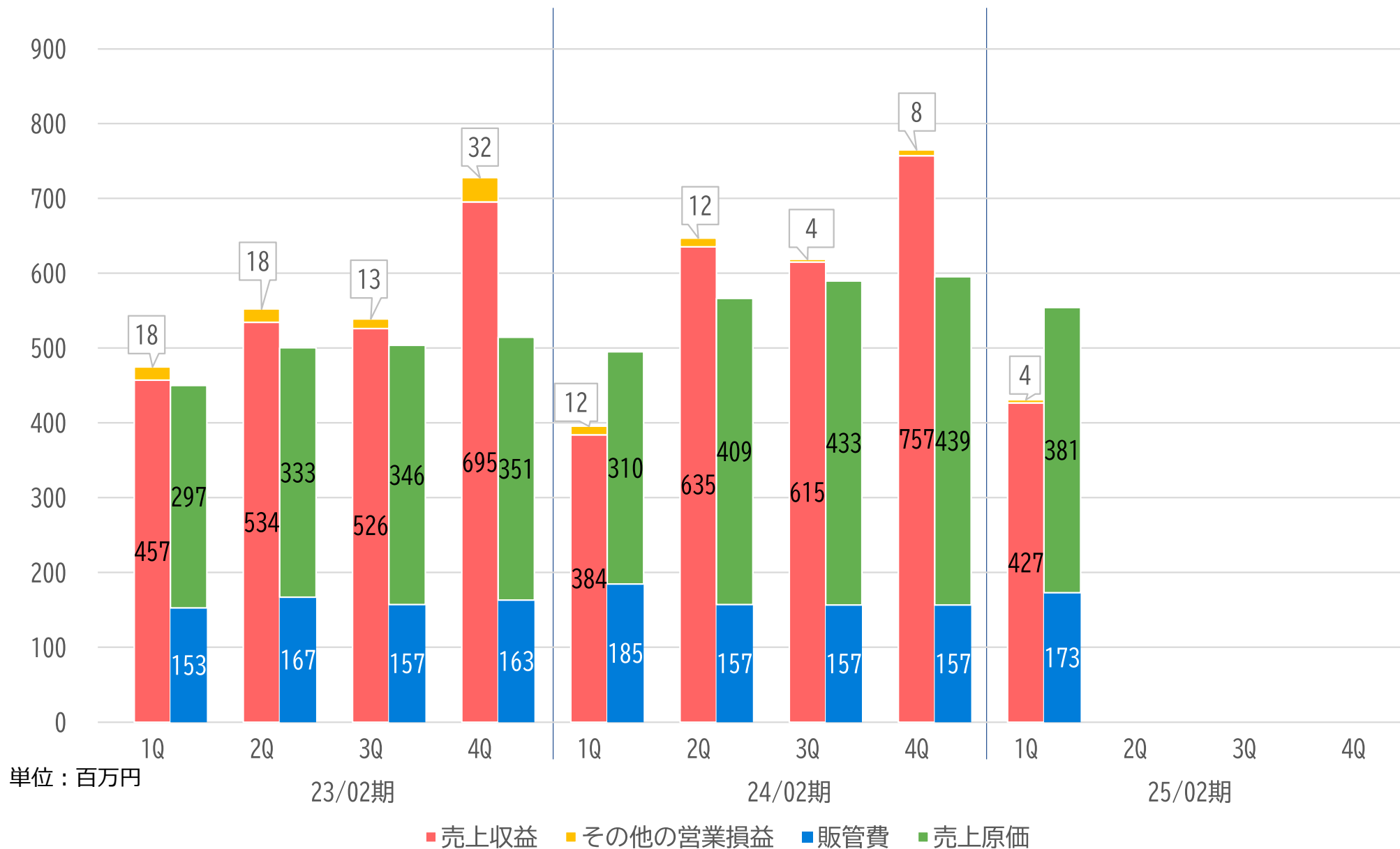
## 【売上原価】

- 人員増及び昇給に伴う労務費の増加、IT投資の促進に伴う賃借料・減価償却費の増加 (+)
- 調査数増加に伴うモニター謝礼の増加 (+)

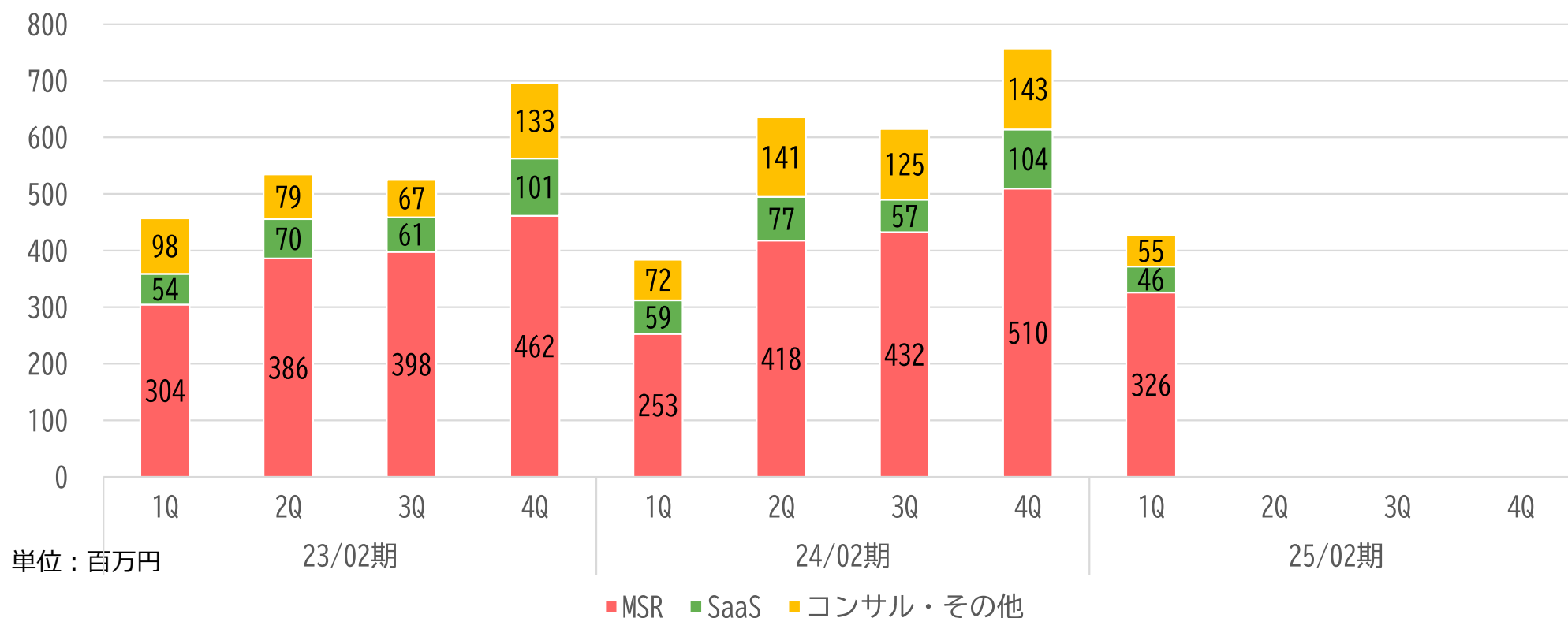
## 【販管費】

- 業務効率化による管理業務に従事する人員減に伴う人件費の減少 (-)

# 連結P/L(四半期推移)



# 連結売上収益の内訳(四半期推移)



## ✓ MSRは前年同四半期比28.9%増

- 今期の活動方針に「MSRの再構築」を掲げ取引拡大に傾注してきたことが功を奏し、通常調査、海外関連調査、送客+調査型サービスが全て増加

## ✓ SaaSは前年同四半期比21.8%減

- 一部大手企業のカスタマーリサーチによるスポット調査が実施されなかったこと等により減少

## ✓ コンサルその他は前年同四半期比24.1%減

- 今年度の事業再構築補助金の第1回採択が10月以降と見込まれるため関連売上が減少



# 連結P/L(予想進捗率)

単位：百万円	2025年2月期 第1四半期累計 (実績)	2025年2月期 連結会計年度 (予想)			2025年2月期 第2四半期累計 (予想)		
			予想 差異	予想 進捗率		予想 差異	予想 進捗率
売上収益	427	2,729	△ 2,302	15.6%	1,211	△ 785	35.2%
売上原価	△ 381	—	—	—	—	—	—
売上総利益	46	—	—	—	—	—	—
販管費	△ 173	—	—	—	—	—	—
その他の営業損益	4	—	—	—	—	—	—
営業利益	△ 123	271	△ 394	—	7	△ 131	—
EBITDA	△ 96	—	—	—	—	—	—
親会社の所有者に帰属する 当期利益	△ 73	206	△ 278	—	2	△ 75	—

## ✓ 2025年2月期業績予想は達成の見込み

- 予想進捗率は高くないものの、次ページ以降の取り組みにより、予想は達成の見込み
- 通期業績予想に対する売上収益進捗率は15.6%、  
第1四半期の実績に第2四半期初受注残高(国内)を含めた通期業績予想に対する売上収益充足率は56.7%
- 上期業績予想に対する売上収益進捗率は35.2%、  
第1四半期の実績に第2四半期初受注残高(国内)を含めた上期業績予想に対する売上収益充足率は70.3%

# 重点活動方針の進捗 | 1. MSRの再構築

## ① コロナ後のニーズ変化を捉えたマーケティングと提案による過去客との取引復活

✓ 1Qクライアント数：557社（内、復活11社）

## ② 海外関連調査の拡大

✓ 海外関連調査売上：53百万円（前年同四半期比51.5%増）

## ③ 顧客との交渉による販売単価の向上

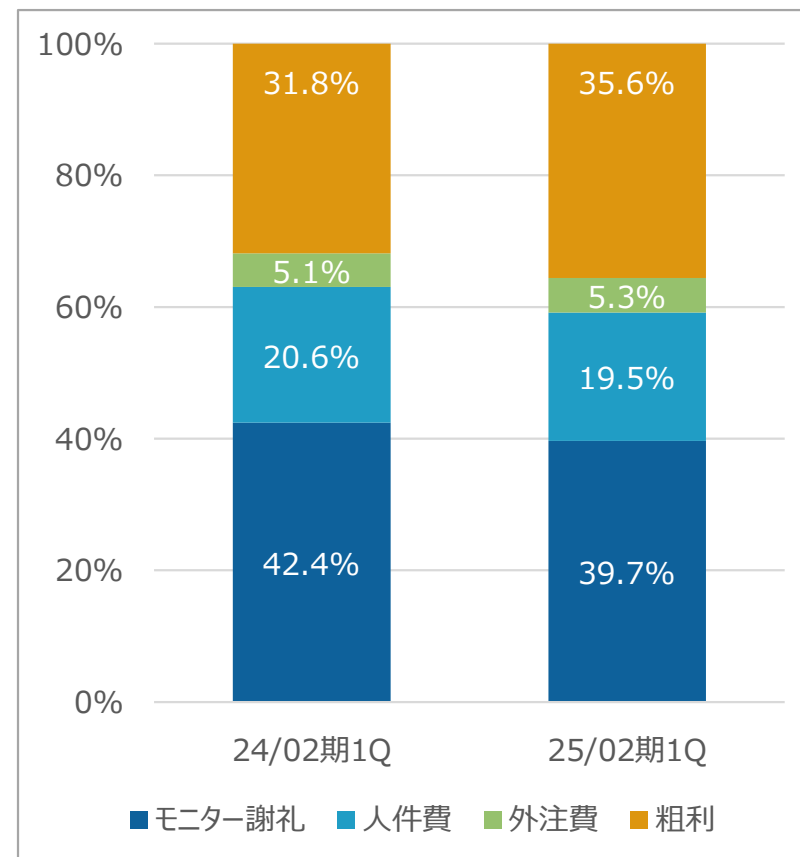
モニターの調査参加率向上による製造原価の低減

✓ 前年同四半期比で粗利率が3.8ポイント増

- モニター謝礼が2.8ポイント減  
調査要件の緩和やモニターの調査参加率向上施策が進んだことによる
- 人件費が1.1ポイント減  
調査数の増加により固定費である人件費率が低減

✓ 顧客との交渉による販売単価の向上も並行してすすめており、2Q以降の利益率改善に期待

MSRのコスト構造（前年同四半期比）



※「重点活動方針」は、2024年4月8日開示の「2024年2月期決算説明資料」を参照



# 重点活動方針の進捗 | 2. 新規サービス開発への継続的投資

## ① 補助金・助成金関連

- ✓ 今年度の事業再構築補助金の第1回採択が10月以降と見込まれるため、1Qの補助金・助成金関連売上が減少
- ✓ これまでの支援のノウハウを元にラインナップを拡充

### 対応済み

- 人材開発支援助成金
- 中小企業生産性向上促進事業費補助金
- 小規模事業者持続化補助金
- ものづくり補助金

### 対応予定

- 観光事業者による旅行者受入対応力強化支援事業補助金
- インバウンド対応力強化支援補助金
- 中小企業等経営強化法（経営力向上計画） 等

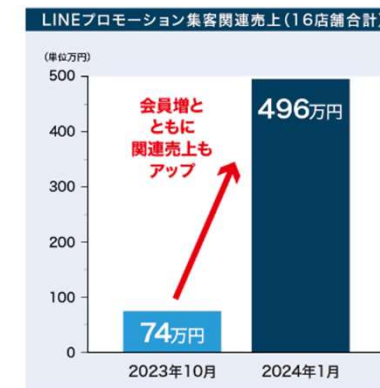
## ② HR分野

- ✓ 有料職業紹介スタート
  - 1Q実績：2件

## ③ LBO（エルボ） ※LINEを利用した集客支援サービス

- ✓ 外食企業をターゲットに受注拡大
- ✓ 「LINE友達獲得数」954%UP・「関連売上」670%UPの事例も

<https://www.msandc.co.jp/info/case/lbo/foodservice/case378>



## 資 産

単位：百万円	2025年2月期 第1四半期 (2024年5月31日)	2024年2月期 連結会計年度 (2024年2月29日)
現金及び 現金同等物	419	330
営業債権 及びその他の債権	291	541
流動資産合計	805	953
のれん	2,224	2,224
非流動資産合計	2,654	2,597
資産合計	3,459	3,550

## 負債及び資本

単位：百万円	2025年2月期 第1四半期 (2024年5月31日)	2024年2月期 連結会計年度 (2024年2月29日)
社債及び借入金	100	150
営業債務 及びその他の債務	530	501
流動負債合計	680	706
非流動負債合計	16	18
資本金	78	75
資本剰余金	2,041	2,038
自己株式	-365	-365
利益剰余金	1,066	1,139
資本合計	2,763	2,826
負債及び資本合計	3,459	3,550

- ✓ 売掛金の回収により、営業債権及びその他の債権が減少
- ✓ 1Q末のコミットメントライン契約に基づく短期借入の残高は100百万円
- ✓ 現金及び現金同等物の増減額については次ページ参照

単位：百万円	2025年2月期 第1四半期	2024年2月期 第1四半期	前年 同四半期差異	前年 同四半期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	178	61	117	192.9%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 38	△ 27	△ 10	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 51	△ 171	120	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	419	532	△ 113	-21.3%

## ✓ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- 税引前損失123百万円の計上、営業債権の残高が249百万円減少したため、前年と比較して117百万円収入増となり、当期の営業活動によるキャッシュ・フローは178百万円の収入

## ✓ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- 有形固定資産の取得5百万円、システム開発費用の支出32百万円が発生したため、前年と比較して10百万円の支出増となり、当期の投資活動によるキャッシュ・フローは38百万円の支出

## ✓ 財務活動によるキャッシュ・フロー

- 短期借入金50百万円の減少、新株予約権の行使による収入7百万円等が発生したため、前年と比較して120百万円支出減となり、当期の財務活動によるキャッシュ・フローは51百万円の支出

## 免責事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的として、株式会社MS&Consulting（以下「当社」という。）が作成したものであり、いかなる有価証券の売買の勧誘を目的したものではありません。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しておりますが、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っており、またこれを保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身の責任とご判断においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

## 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。